

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 【新】航空宇宙産業人材確保に向けた魅力発信事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 航空宇宙産業課 産業振興係 電話番号：058-272-1111 (内3763)

E-mail：c11354@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,841 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	9,841	0	0	0	0	0	0	0	9,841
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

コロナ禍の影響から回復しつつある中、今後、航空機の機体増産が見込まれているが、コロナ禍による旅客需要激減や国産旅客機の開発中止等により同産業のイメージが悪化し、同産業への就職者の減少による深刻な人手不足の状態であり、県内の同産業の人材確保に大きな影響を与えている。

そのため、同産業の回復傾向にある現状を正しく伝え、ネガティブなイメージを払拭し、同産業の魅力や将来性をPRするため、小中高生とその保護者を対象に、同産業への就業意欲を高めるためのイベント等を実施する。

(2) 事業内容

航空宇宙産業をPRするため、県民が集まるイオンモール各務原店等で「岐阜航空宇宙展 (仮称)」を開催、中高生向けの航空宇宙関連企業や実機の見学会を開催する。

■「岐阜航空宇宙展 (仮称)」開催

(時期) 令和6年7～8月(3日)

(場所) イオンモール各務原店等

(対象) 小中学生及び保護者

(内容) ①県内航空宇宙企業で開発・製造された機体・部品の展示

- ・川崎重工業(株)で開発中の無操縦者航空機「K-RACER」等の実機及び機体や製造方法の解説パネルの展示等

②県内航空宇宙関連企業の紹介

- ・県内の航空宇宙産業の集積を紹介するため、県内の航空宇宙関連企業紹介パネルの展示や航空組立体験コーナーの設置等

- ③航空宇宙に関するワークショップ
 ・航空機シミュレーター、ドローンの操縦等の体験型コーナーを設置

(3) 県負担・補助率の考え方

特に高い技術力・品質保証能力を求められる航空宇宙産業では優れた人材が必要であり、同産業の現状を理解し、現場を学ぶ重要な機会を提供する。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	9,841	展示会開催、展示物調達等委託料
合計	9,841	

決定額の考え方

岐阜県がはら航空宇宙博物館で類似のイベント等を実施していることから、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (2)次世代を見据えた産業の振興
 - ①産業を支える人材の育成・確保
- 岐阜県経済・雇用再生戦略
 - 3 人材確保・雇用対策プロジェクト
 - 次世代産業の創出やDXの推進等を担う人材の育成・確保
 - (1)成長産業等における人材育成・確保

(2) 国・他県の状況

- コロナ禍の影響から回復しつつある中、航空宇宙産業の人材確保や機運醸成等の取組みを実施
 - ・空飛ぶクルマ理解促進事業（山梨県）
 - ・空のモビリティ展（三重県）

(3) 後年度の財政負担

県内小中高校生及びその保護者を対象に、航空宇宙産業の現状を周知し、人材の確保・育成するため、持続的に支援することは必要

(4) 事業主体及びその妥当性

県内小中高校生及びその保護者を対象に、県内航空宇宙産業への就職意欲を向上する事業であり、県が主体となることは妥当

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内小中高校生をはじめとした将来の成長産業・モノづくり産業を担う若手人材に対し、県内航空宇宙関連企業への就職意欲を喚起させ、就業者の増加を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①航空宇宙関連企業内定者数 (工業高校生) 【単年】	—	—	62	76	90	—%
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)

3

航空機や次世代自動車等の成長産業分野は、今後も県経済を牽引する重要な産業であるが、人材の確保ができていない状況である。そのため、次代を担う若手人材を持続的に確保することは喫緊の課題である。よって、県が主体となり取り組む必要がある。

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり
2：期待どおりの成果あり
1：期待どおりの成果が得られていない
0：ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせて実施する理由
や期待する効果 など